R6年度【 自己評価結果表 】放課後等デイサービス

公表:令和7年 5月

CozySchool ぱんの木

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	0	内容ごとに活動のスペースを分けており、ゆとりのある活動が行えるようにしております。	
	2	職員の配置数は適切である	4	1	0	各活動スペースに職員を1人は必ず配置しております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2	0		小さな段差や2階へ上る階段があります。現在その点で介助の必要な利用者様はおられませんが、1階のみの活動でも十分なスペースがあります。段差には簡易のスロープを取り付けて対応いたします。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	0	職員による定期的なミーティングを行い、その中で目標設定・振り返り・改善策等、意見を出し合っております。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	0	アンケート結果を職員全員が目を通し、ご意見いただいた点の改善に努めております。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	0	ホームページで公開しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	0	第三者からの評価結果の記録はありませんが、様々な視点からの意見をいただき改善に繋げております。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2	0	講習や事業所間の集まりに参加した職員から職員全体へ内容を周知しスキルアップに努めています。	研修へ参加する時間をなかなか取れていない事がある。 業務内容を見直し定期的に研修へ参加できるようにしていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	アセスメントを基に職員全体でモニタリングを行い、支援計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	0	個々に合わせて集中できる環境の準備や視覚的なアプローチを行い、職員全員が把握できるようにしています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	ミーティングを行う中で意見を出し合決めています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	2	0	季節の取り組みや、運動、SST等様々な取り組みを日々行っております。個別の課題でもステップアップしていけるように経過を見ながら内容を変更しています。	楽しさの中にもしっかりと学びや成長に繋がる内容のプログラムを日々模索し話し合って提供いきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	0	活動できる時間の長さに応じて取り組みの内容を話し合い、様々な体験をしていただけるよう設定しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	個別課題・集団プログラム両方の視点から状況を把握し作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	0	ホワイトボードを使いその日担当を決めています。	役割分担、内容を明白に決めていき、職員の力をより発揮できる場を作っていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	0	その日の出来事、良かった点、反省点を話す場を設け、情報や児童の様子を共有しています。	勤務時間内に職員全員が情報共有できる時間がとれるよう業務内容の改善へ努めていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	0	個別課題や活動の様子を記録し、児童のスキルアップや支援内容の改善へと務めております。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1	0	定期的に職員全員でモニタリングを行い意見を出し合っています。	モニタリングの時間、頻度えお増やせるよう業務内容を見直していきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	2	3	0	ガイドラインを組み合わせ支援の基本活動を意識して児童と関わっています。	

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0	担当者会議にはその児童に関りの深い職員が参画するようにしております。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	0	0	学校からの連絡ノートやお便りの確認、保護者様とも学校予定の連絡を取り合い状況を把握しております。必要であれば直接学校に連絡し確認を取っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	0	病院の指導内容を保護者様から教わり、保護者様からの指導と訓練を行った上で対応しております。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2	0		関連事業所とは会議の場以外でも連絡を取り合い、情報の共有に努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3	1		現在まだ学校を卒業した児童はおりませんが、その際には当事業所の情報を提供できるようにしております。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	1		必要性のある場合は助言や指導を仰ぎ、研修等にも参加していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3	2		現在までは交流の機会は設けられなかったが、積極的に交流できる機会をつくっていきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	5	1	0	自立支援協議会に役員として参加しております。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	送迎の際にお子様のその日の活動の様子、課題の経過等お話する時間を設けております。 LINEや電話等でもお話ができるようにしております。	お話の機会が少ない利用者様にも積極的にアプローチし、話し合える場を設けていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4	0	事業所で取り組んでいる内容や活動の中で意識して対応しているところは保護者様に説明し、お家で意識し取り組んでいる事もお聞きした上で、お子様の自立に繋がるよう支援内容を話し合い提案しております。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0	ご契約時に説明を行います。ご不明な点がある際にはより分かりやすく説明を行っております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	0	お悩みやご相談を受けた際には、迅速にお電話や面談の機会を設けております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	2	3		現在は保護者会は行えておりませんが、今後は親子、保護者同士が関われるイベントを考えていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0	ご指摘いただいた事を記録し、職員全体へ周知し、迅速に改善へ努めております。 改善後は内容を保護者へ報告しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	0	月に1度行事予定やおたより等をLINE・お手紙等でお知らせしています。	
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0	守秘義務を基に細心の注意を払っております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	ルビを打つ、視覚的にイラストや写真を使う、時間は時計の分かりやすい物を記載する等の配慮を行っております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	1	4		現在行えておりません。 どのような方法が良いか模索中です。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2	0	各マニュアルは策定し職員全員が周知しております。	保護者様等にも伝わるよう説明を行っていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	0	防災センターへ行き災害についてや非難の仕方を学習しています。 定期的に防災の知識を学習する場を設けています。	近隣との兼ね合いもあり、実際に避難訓練はしばらく行えていないのですが、実地できるよう考えております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2	0	定期的に虐待防止についての話し合いを職員全員で行っております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2	0		現在身体の拘束を必要とされるお子様はおりませんが、必要となった際には保護者に事前に説明を行い、計画書にも記載していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	0	契約時にアレルギーについての聞き取りを行っております。 保護者様から対応について指示を受けており職員全員周知できるようにしております。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	0	ヒヤリハット事例は記録し、職員全員で共有しております。	